

# 「2022年上期の振り返り 並びに 今後の展望」

ウクライナ危機  
各部会・業界の対応は？

機械金属部会

山田 佳宏

2022年8月30日

# 目次

## 1. 会員企業の状況（事業分野・全般状況）

## 2. 関連諸指標と各事業分野別の動向

2-1. ブラジル鉱工業生産

2-2. 土木建設指数

2-3. 粗鋼生産

2-4. 電力消費、石油製品

2-5. 紙パルプ、工場用設備・制御機器

2-6. 建設機械、ポンプ等

2-7. 自動車関連その他

## 3. ウクライナ危機関連

# 1-1. 会員企業の状況 - 事業分野

事業・製品分野	会社数
インフラ全般	2
鉄鋼	3
電力・紙パルプ	1
建設機械	1
移動式クレーン ・レーダー切断機	2

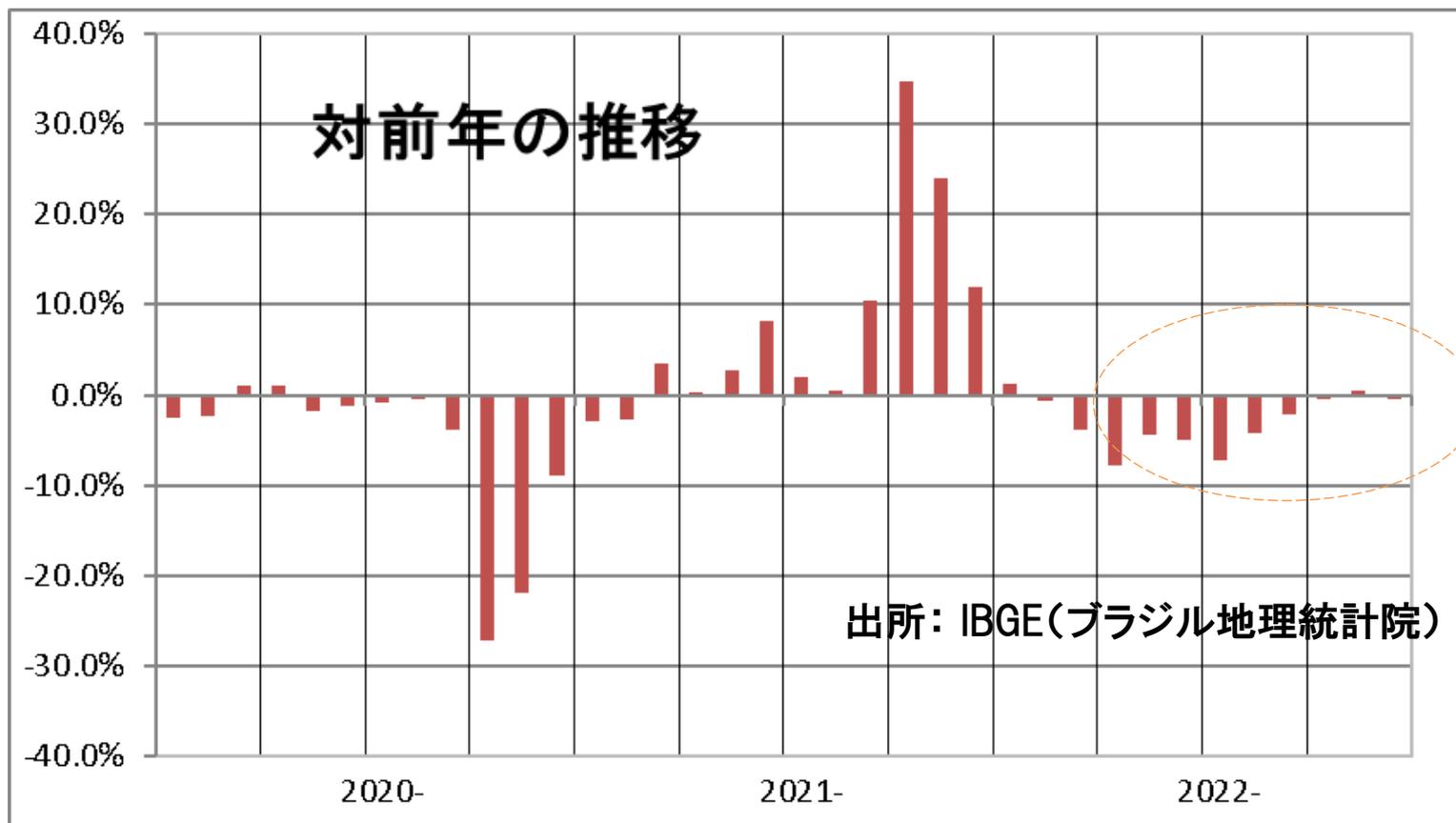
事業・製品分野	会社数
ポンプ	1
プラント・工場用 制御システム・機器	2
切削工具・潤滑油 ・金属加工油剤	3
ベアリング ・ドライブシャフト	2
計9分野	計17社

(注) 部会(8月17日開催)参加・資料提供の会社について集計。

## 1-2. 会員企業の状況 - 全般状況

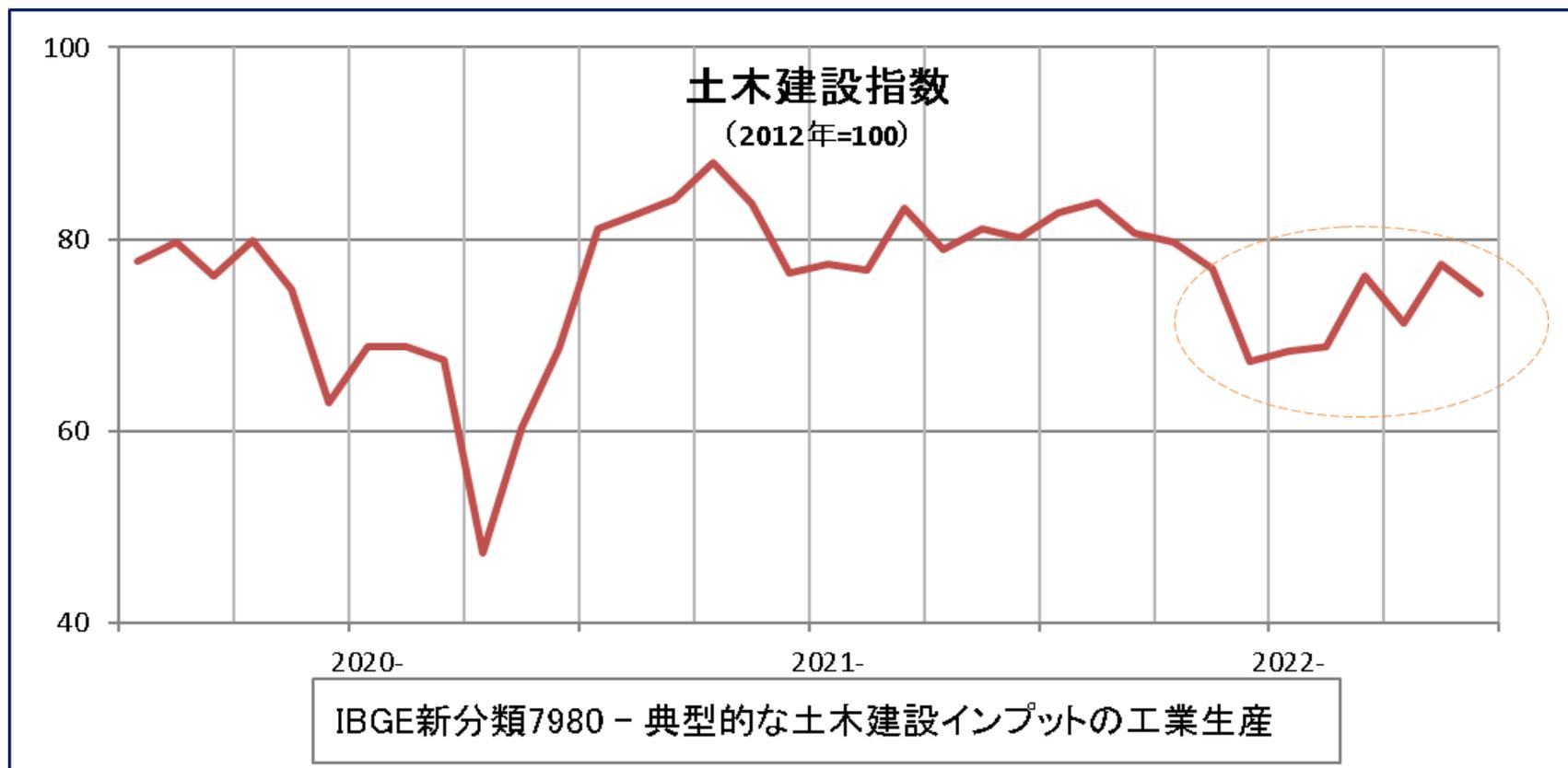
- 2021年の後半に一時陰りを見せてていた景気指標は、2022年に入ってから回復基調にある。
- 会員企業の多くは、高レベルを維持している需要や新規顧客開拓、旺盛な設備投資により、好調を維持している。
- 一方、前回に引続き、半導体不足や物流費・原材料費の高騰が挙げられている。
- ブラジルにおける自社の経営方針が、ウクライナ危機によって変化したとする企業は、基本的にはない。

## 2-1. ブラジル鋳工業生産



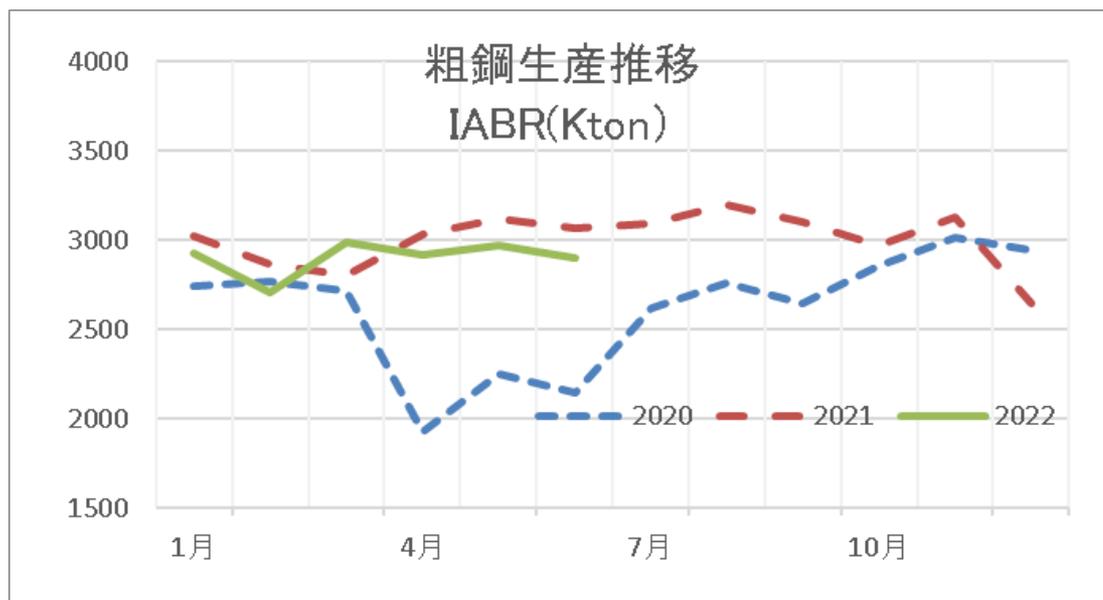
- ブラジル鋳工業生産は、2021年後半から対前年を下回るペースが続いていたが、2022年に入ってから回復し、同年第2Qは、ほぼ前年横ばいの状況となっている。

## 2-2. 土木建設指数



- 土木建設指数についても、2021年後半にペースダウンしていたが、2022年に入ってから回復傾向にある。

## 2-3. 粗鋼生産

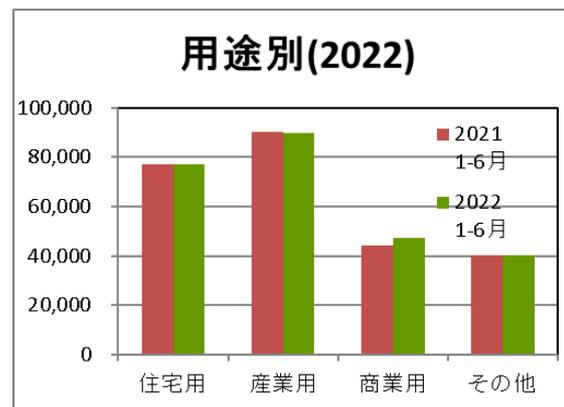
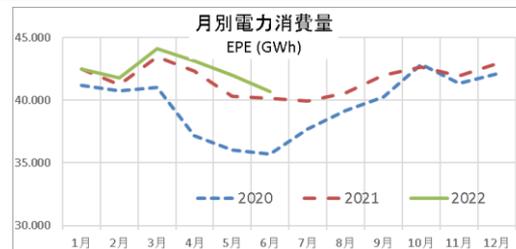


- 年初は低調な自動車生産の影響を受けていたが、3月以降は製造業景況感の先行き見通しが改善した。
- 建設分野も堅調で、本年の粗鋼生産量・鋼材見掛け消費量は共に、パンデミック前を上回る水準で堅調に推移。
- 最新(4月)の見通しによれば、2022年の粗鋼生産は、過去最高を記録した2021年から更なる伸長が期待されている。

# 2-4. 電力消費、石油製品

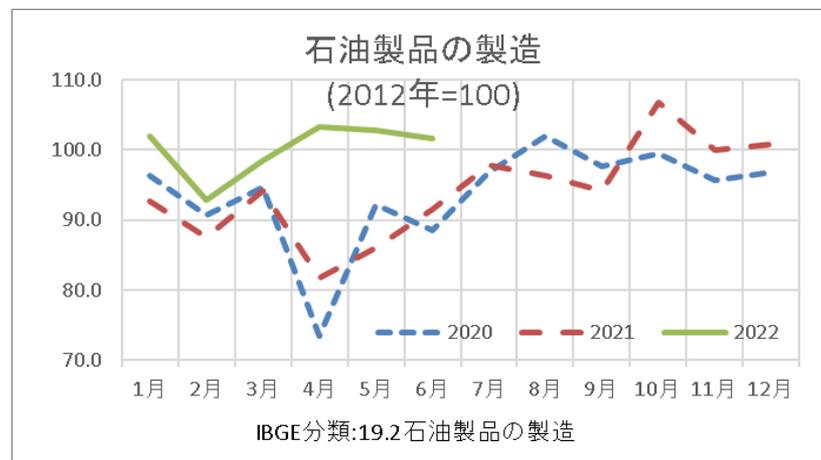
## 電力消費量

- 経済活動の再開を反映し、2022年上期の電力消費量は、緩やかに回復。
- 用途別では、商業用の回復が目立っている。



## 石油製品

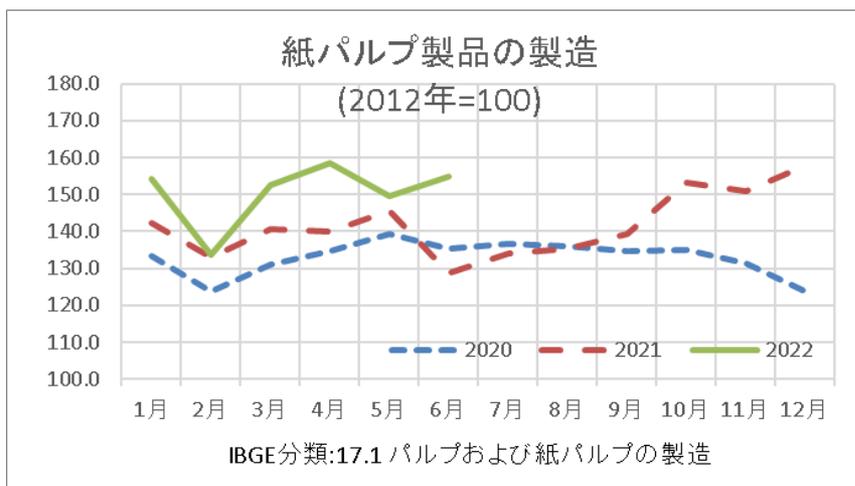
- 石油製品の製造は、2022年に入っても、引続き、高レベルを維持している。



## 2-5. 紙パルプ、工場用設備・制御機器

### 紙パルプ

- 従来から高レベルの生産が続いているが、2022年前半は引続き、前年を上回っている。



### 工場用設備・制御機器

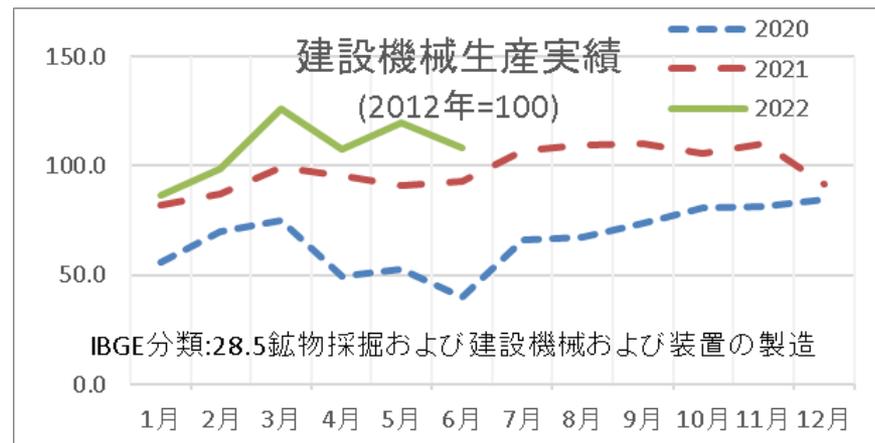
以上のとおり、製鉄・紙パ・石油ガス等は、引き続き高稼働

- 輸入クレーン: 本年上期総需要は昨年通年以上。
- 板金加工機械: 本年の輸入額は過去最高との予想。
- 制御機器等: パルプ、鉄鋼、化学向が好調を維持。

## 2-6. 建設機械、ポンプ等

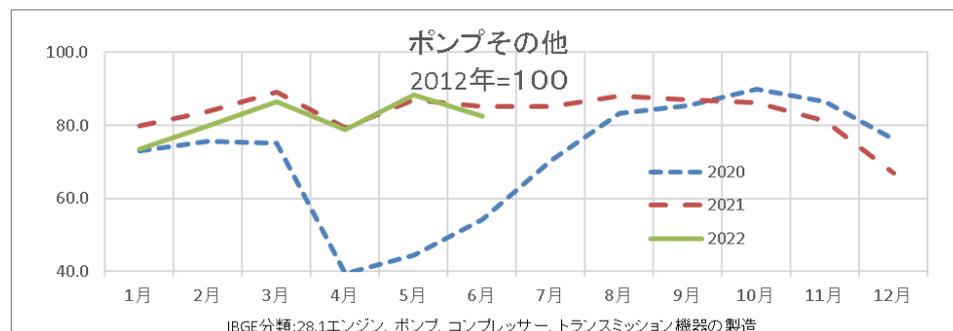
### 建設機械

- 2022年1Q建機需要は、インフラ投資、一般土木、農業分野が牽引し、前年比+45%増
- 原材料価格の高騰、原油価格上昇に伴う輸送費増が懸念材料

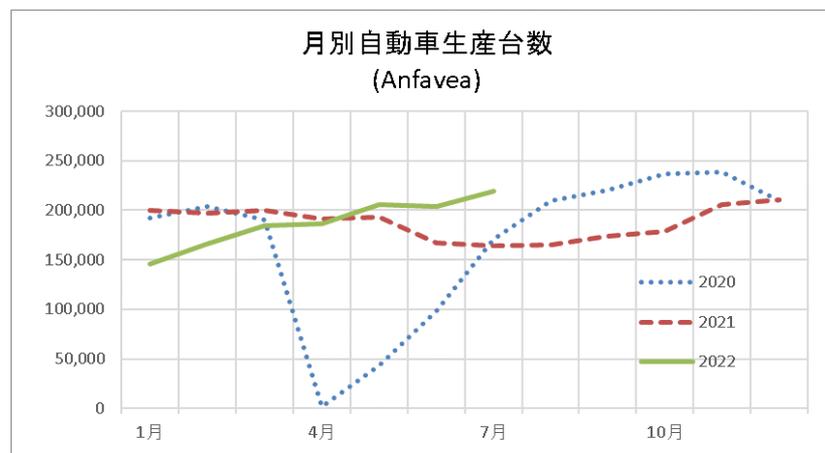


### ポンプ等

- 2022年前半は、好調を継続しているが、建機と同様、原材料費・輸送費増が懸念材料。



## 2-7. 自動車関連その他

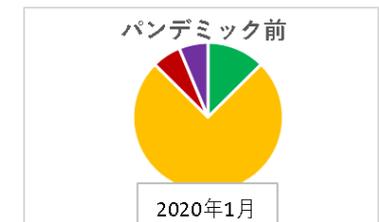
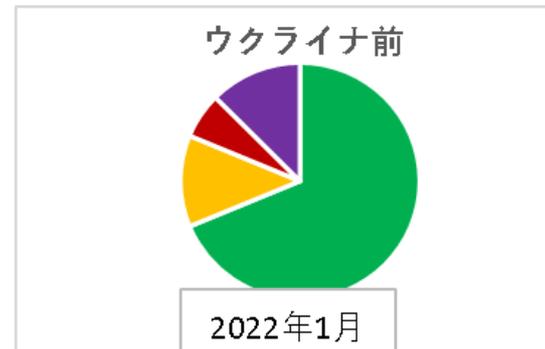
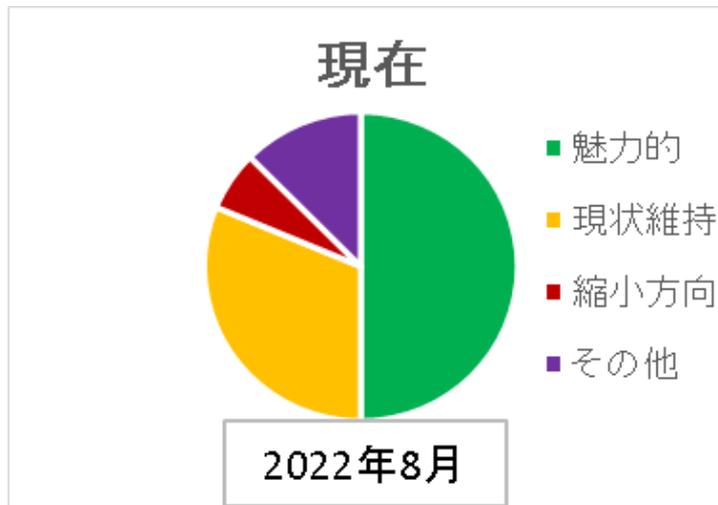


【いずれの分野も自動車向けの減少がある中で】

- 工具：デンタル・メディカル、農機・建機関連が堅調。
- 金属加工油剤：農機・重機向等の新規販売が増加。
- 潤滑油：新規案件獲得で対応。
- ベアリング：鋳業、鉄鋼などの生産財、建機・農機関係が堅調を維持
- ドライブシャフト：新規案件による需要増で対応。

### 3. ウクライナ危機関連(会員アンケート結果)

- ウクライナ後の現在、ブラジルビジネスを魅力的・どちらかというと拡大方向と認識している会社の割合は、パンデミック前よりも多い。



- パンデミック・ウクライナ危機に起因する自社経営方針の変化 ⇒ 基本的でない。

---

**ご清聴ありがとうございました。**

**Obrigado!**